

令和３年度 北海道開発局事前評価技術検討会 議事概要

- 1 日 時 : 令和３年７月１３日（火）15:00～17:00
令和３年７月１５日（木）10:00～12:00
- 2 場 所 等 : Web 会議
帯広畜産大学 会議室
- 3 対象地区 : 国営かんがい排水事業 「篠津運河中流地区」
国営かんがい排水事業 「神竜二期地区」
国営かんがい排水事業 「十勝川左岸二期地区」
国営かんがい排水事業 「斜里飽寒別地区」
- 4 委 員 : 北室 かず子 フリーライター・編集者
耕野 拓一 帯広畜産大学 教授
山本 忠男 北海道大学大学院農学研究院 講師
義平 大樹 酪農学園大学 教授

5 議 事

北海道開発局事前評価技術検討会を開催し、令和４年度事業着手要求地区である国営かんがい排水事業「篠津運河中流地区」、同「神竜二期地区」、同「十勝川左岸二期地区」及び同「斜里飽寒別地区」の事前評価に当たって、評価資料（案）の内容、判断根拠等について、各委員から意見を求めた。

質疑応答の概要は以下のとおり。

[１] 国営かんがい排水事業「篠津運河中流地区」

（委 員）米の輸出に取り組んでいる地域であるが、輸出以外にも、例えば米を使った加工品の製造・販売を推進するなど、米の需要を喚起する取組みを地域で進めることが望ましい。

（開発局）地域へも、そういった取組みについて伝えたい。

[２] 国営かんがい排水事業「神竜二期地区」

（委 員）本地区の揚水機において、動力源に水車を利用する水力駆動式ポンプが導入済み及び整備予定であり、これらは再生可能エネルギーを利用した施設であることから、チェックリストの「再生可能エネルギーの導入」は、Ｂ判定ではなく、Ａ判定が適当である。

（開発局）意見を踏まえ、評価について、見直しを行う。

（委 員）本地区では、近年の降雨形態の変化に伴い、農業関係以外の被害も生じており、排水施設の整備を実施した場合、一般資産や公共資産に対して被害額が軽減する効果を計上しているのは適切と考える。また、近年、全国的に大雨による被害が生じており、都市住民も大雨のリスクに不安を感じていると思われる。農業の排水施設を整備することで、都市住民等に安心感を与えることも想定されることか

ら、各種被害が軽減される以外の新たな効果を検討する時期に来ているのではないかと感じる。

（開発局）新たな効果の検討の意見については、今後の事業効果算定に関する提言として受け止め、農林水産省に伝えたい。

〔３〕国営かんがい排水事業「十勝川左岸二期地区」

（委員）チェックリストの「産地収益力の向上」①生産額（主食用米除く）に占める高収益作物の割合がＢ判定となっているが、本地区のような大規模畑作地帯において新たな判定基準が必要ではないか。

（開発局）水田地帯では作付けの主である主食用米が除かれているのに対し、本地区のような大規模畑作においては、小麦、大豆、てんさい等の相応の作付面積があり、それらの作物と高収益作物を輪作して経営が成り立っていることから、Ｂ判定となる。大規模畑作地帯における新たな判定基準の意見については、事前評価に関する提言として受け止め、農林水産省に伝えたい。

〔４〕国営かんがい排水事業「斜里飽寒別地区」

（委員）チェックリストの「農業生産基盤の保全管理」の緊急性を踏まえた更新等整備において、Ｂ判定となっているのは何故か。

（開発局）施設の不具合など不測の事態が発生しているか否かで判断している。

（委員）湛水被害の発生についても不測の事態として扱う方が適切と思われ、排水改良地区においては、判定基準の見直しを行うことが望ましい。

（開発局）意見については、事前評価に関する提言として受け止め、農林水産省に伝えたい。

〔５〕各地区共通事項

（委員）チェックリストについて意見する。

チェックリストの「ストック効果の最大化」は、一般の方が理解できる言葉に置き換えるのが適切と考える。

（開発局）意見については、事前評価に関する提言として受け止め、農林水産省に伝えたい。

6 全体意見

事前評価の評価項目である事業の必要性、効率性、有効性、優先性、公平性及びその他評価項目は、適切に評価されている。

検討の対象となったいずれの地区とも、早期に事業を実施する必要性が認められる。

国民が北海道農業に求めるのは、安全・安心な国産農産物の安定供給である。北海道農業が担っている国民の命の土台を支える使命を一番大事にしていきたい。

以上